

## 【委員会報告】

## オープンキャンパスで相談コーナーを開設しました

企画委員長 川光 秀昭(54 回生)

平成 24 年 10 月 27 日、大瑠璃祭に合わせて開催されたオープンキャンパスにおいて、受験生や保護者の質問に答える相談員のお手伝いをしました。私たちが受験生の時には、少なくとも自分の進路は自身で決めようとしていたように思いますが、保護者の方が積極的に仕事の内容や被ばくについての相談をされる傍らで、受験生は上の空で携帯を覗いていました。また、中には受験する本人さえ同行せずに保護者だけで参加されている場合もありました。現在の高校生の気質なのかも知れませんが、安定した医療職を保護者の方が強く望んでいることは間違いのない事実のようです。女子高生から 42 歳の社会人入学を目指す方まで、様々な受験生の相談を受けました。来年の学園祭では在校生として笑顔を見せてくれることを願ってやみません。



同日に開催されている大瑠璃祭では、在校生に対しても先輩として相談を受け付けるコーナーも開設しましたが、時間の経過に比例して相談員のアルコール摂取量が増加し、学生には近寄りたがたい雰囲気を作り出してしまった様で、このコーナーでの相談はありませんでした。例年では無料のアルコールに誘われて在校生も集まり、ざっくばらんに相談が進行していくのですが、これも学生の気質の変化なのでしょうか。来年度にはこの事を反省し、若い学友会員を中心に学園祭の企画に積極的に参加していこうと思いますので、何かアイデアをご連絡いただければ幸いです。



この日の最後はやはり恒例となっている東屋でのバーベキューです。在校生や卒業生、大学職員が一体となって網で焼いた肉をつきました。在校生のリーダーの掛け声のもとにスタートし、さまざまなグループを回りながら冗談を言い合い、ビールを酌み交わしました。日頃は交流のほとんどない自分の子供よりも若い学生に囲まれてのひと時はあっという間に過ぎていきました。

西谷 源展教授、神澤 良明学友会会長、山上 浩（24回生）、白井 直器（34回生）、伊藤 敏夫（38回生）、永沼 孝一（44回生）、清 俊幸（54回生）、小池 豪（61回生）、高橋 一男（短1回生）、東雲 大輔（短7回生）

以上

---

\* 通巻 206 号 2013 年 1 月 10 日発行(H24-No.4)より